

ソフィアメディ訪問看護オンラインセミナー

精神科病院の 役割と機能について



より近くで、地域精神保健医療を共に考え、支えたい

2024/9/24

医療法人社団ハートフル川崎病院

看護部長 藤城久嗣

医療法人社団ハートフル川崎病院



【当院概要】

診療科：精神科、心療内科、内科

病床数：320床（救急急性期病棟60床・認知症治療病棟82床・特殊疾患病棟38床・療養病棟120床・ストレスケア病棟20床）

指定：指定保険医療機関・労災指定病院（精神科）

認定：精神科専門医制度研修施設・臨床研修病院（協力型）

常勤医：13名（精神保健指定医11名）

その他：デイケア・訪問看護・作業療法

A photograph of two rows of yellow letter tiles on a white background. The top row contains the letters 'M', 'E', 'N', 'T', 'A', 'L' and the bottom row contains 'H', 'E', 'A', 'L', 'T'. A small green leaf is visible to the right of the top row.

M E N T A L

H E A L T H

本日の内容

- 01 精神科病院、入院形態について
- 02 精神疾患と治療について
- 03 当院の機能について
- 04 課題について

精神科病院とは？

- 精神障害者に対し、集中的な治療や看護、保護を行い、その社会復帰を促進する
- 精神疾患の発生の防止と、国民の精神的な健康の保持、およびその増進に努める
- 福祉の増進と国民の精神保健の向上を図ることを目的とする医療施設

精神科の入院形態とは？

	入院条件			備考	入院権限
	本人の同意	指定医の診察	その他		
任意入院	必要	不要	書面による 本人の意思確認	本人の申し出があれば 原則退院可能 指定医が必要と認めれば 72時間以内の退院制限可能	
医療保護入院	得られない	1人の診察	家族等のいずれか（場合により市町村長同意も）	入退院後10日以内に 知事に届出	精神病院 管理者
★ 応急入院			医療及び保護の依頼があるが家族等の同意が得られない	入院期間は72時間以内 入院後直ちに知事に届出 知事指定の病院	
措置入院	無関係	2人以上	自傷他害のおそれがある	国立・都道府県立精神科病院または指定病院に限る	都道府県知事
緊急措置入院		1人の診察	自傷他害のおそれが著しく急を要する	入院期間は72時間以内 指定医が1人しか確保できず時間的余裕がない場合に暫定的に適用	

★ 当院では対応していません。

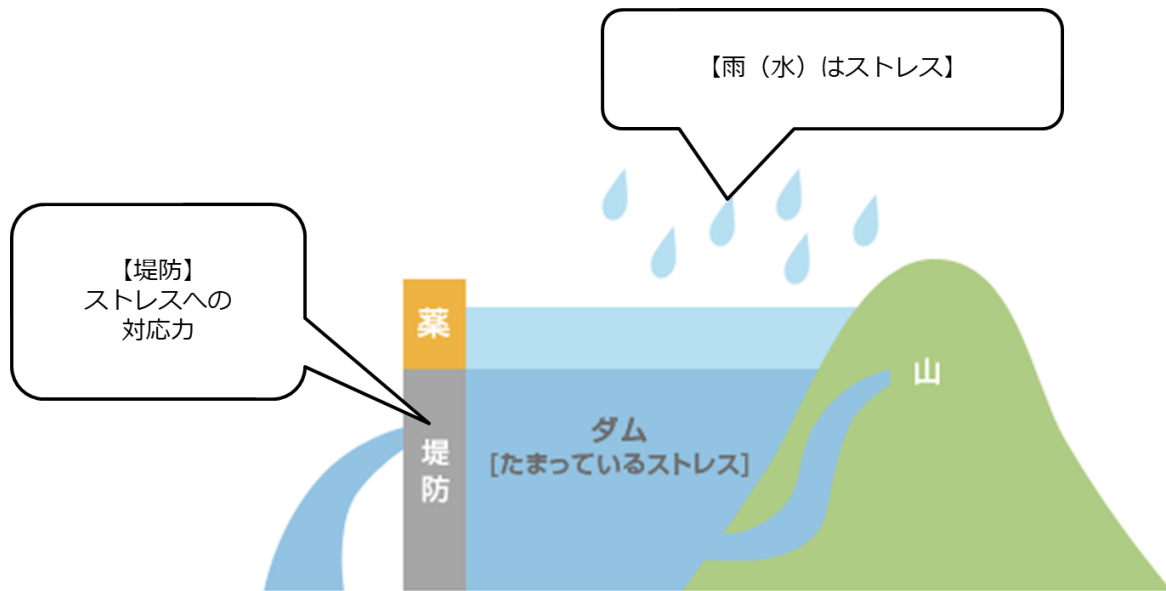
精神疾患の種類

- 統合失調症
- うつ病
- 双極性障害（躁うつ病）
- 認知症
- 依存症
- パーソナリティ障害
- 発達障害
- e t c…



精神疾患の構造と対処

～ストレス脆弱性仮説とレジリエンス（回復力）モデル



ストレスの水で
堤防が決壊
しないためには
どうすれば良いか



雨量を減らし、
水門を開き、
堤防を高くする



精神疾患の治療 ~ストレスへの対処として

薬物療法

抗精神病薬
抗うつ薬
睡眠薬、等

休養 環境調整

睡眠
生活リズム
環境調整、等

心理 社会療法

運動療法
支持的な精神療法
認知行動療法
作業療法、等

三本柱を組み合わせることでストレスに対処

ところで、精神科病院ってどのようなイメージがありますか？

暗い・汚い

鉄格子

怖い

カッコーの巣の上で



閉ざされた空間

以前の当院（多摩川病院時代）



現在の当院



当院の機能

＜病棟構成：合計320床＞

	東館	病床数	西館	病床数
5階	精神科救急急性期病棟	25	精神科救急急性期病棟	35
4階	認知症治療病棟	34	認知症治療病棟	48
3階	特殊疾患病棟	38	女性精神科療養病棟	60
2階	ストレスケア病棟（休止中）	20	女性精神科療養病棟	60

* 1階は、外来、医局、看護部、デイケア、作業療法室、放射専科、薬剤科、栄養課、管理部門、等

精神科救急急性期（スーパー救急）病棟

<概要>

精神科救急医療を主に行う専門病棟のことで、精神科急性期治療病棟を凌ぐという意味から、精神科スーパー救急病棟と呼ばれるようになりました。

病気になりはじめの時期や急に症状が現れる急性期、自傷他傷リスクの高い患者において、集中的な治療が必要となる患者を対象としています。

<特色>

- 多くの医師・看護師が配置されており、手厚い治療が可能
- 統合失調症に効果的なクロザリル治療（基準を満たす必要のある）の処方が可能
- 修正型電気けいれん療法専門治療機器（サイマトロン）を完備し、全身管理下での高い安全性を確保

保護室について

<目的> 主に患者の刺激からの保護・安全の確保

<内容>

対象となる患者は、主として次のような場合に該当すると認められる患者であり、隔離以外によい代替方法がない場合において行われるものとする。

- ア 他の患者との人間関係を著しく損なうおそれがある等、その言動が患者の病状の経過や予後に著しく悪く影響する場合
- イ 自殺企図又は自傷行為が切迫している場合
- ウ 他の患者に対する暴力行為や著しい迷惑行為、器物破損行為が認められ、他の方法ではこれを防ぎきれない場合
- エ 急性精神運動興奮等のため、不穏、多動、爆発性などが目立ち、一般の精神病室では医療又は保護を図ることが著しく困難な場合
- オ 身体的合併症を有する患者について、検査及び処置等のため、隔離が必要な場合

身体拘束について

<目的> 主に精神症状の急激な悪化による自傷を防ぐ

<内容>

身体的拘束の対象となる患者は、主として次のような場合に該当すると認められる患者であり、身体的拘束以外によい代替方法がない場合において行われるものとする。

ア 自殺企図又は自傷行為が著しく切迫している場合

イ 多動又は不穏が顕著である場合

ウ ア又はイのほか精神障害のために、そのまま放置すれば患者の生命にまで危険が及ぶおそれがある場合

保護室、拘束帶



認知症病棟

<概要>

「認知症に伴う精神症状や行動障害、強度の不安・興奮状態により自宅や施設などでの生活が困難になった患者さまを対象に専門的な治療とケア」を行う病棟となります。

認知症症状による妄想・幻覚などの精神症状や徘徊・不眠・夜間せん妄などにより、自宅での生活が困難な方や施設などに入所中の方で認知症症状の増悪が見られる方が対象となります。

<特色>

- ・患者全員を対象に、医師の指示を基に看護師・専任作業療法士・心理士による訓練又は指導日常生活動作（ADL）に関連した訓練で、日常生活に必要な機能を維持させる訓練を行う
- ・2病棟で運営し、西4病棟では保護室を有することから入院受け入れを行い、東4病棟で退院調整に時間を有する患者、身体的合併症治療の必要な患者を受け入れる事による病棟役割の運営差別化

特殊疾患棟

<概要>

精神疾患を主病とした、重度の肢体不自由者等(日常生活自立度のランクB以上)重度の障がい者(但し、脊椎損傷等の重度障がい者・筋ジストロフィー患者・神経難病患者・脳卒中の後遺症患者及び認知症の患者を除く)が対象になります。

<特色>

- ・車椅子・寝たきり等の方が大半
- ・胃瘻（PEG）経管栄養、中心静脈使用の方なども対象
- ・精神症状の管理に加え、栄養管理・全身管理の実施

【機械浴】



精神科療養病棟

<概要>

救急急性期病棟での治療期間内で退院調整が間に合わなかった患者様や引き続き治療の必要な患者、また長期入院患者が入院しております。

<特色>

- 入院期間が長くなっている患者に対し、医師をはじめ精神保健福祉士、デイケア等による多職種と連携し、グループホームや自宅、その他の施設に退院できるように支援
- 患者家族の思いを中心に具体的な退院へと繋げてる
- ADLが自立している患者が多く、作業療法等を行いながら、施設見学、試験外泊を行い主体的な退院に向けて行動できるよう支援

デイケア

<概要>

外来治療のひとつで、通所しながら地域で生活をしている方々が日中様々な活動を行う場所です。

病気の再発予防や、集団生活の中で対人関係の改善、定期的な参加で規則的な生活習慣を身につける等の目的があります。社会復帰や社会参加を促し、通所される方々の生活の質向上を目指し、自分らしい生き方を探していきます。

<特色>

- 利用目的に合わせたプログラムの選択が可能
- 自主性を尊重し、その人らしい生き方が出来るようサポート
- 毎週月曜日から土曜日の開所（午前、午後のみショートケアもあり）
- 他院通院中の方でデイケアのみの利用可能

精神科作業療法

<概要>

身体又は精神に障害のある方、またはそれが予測される方に対し、主体的な生活の獲得を図る、諸機能の回復、維持及び開発を促す作業活動を用いて、治療、指導及び援助を行うことをいいます。

*一般社団法人 日本作業療法士協会：作業療法ガイドライン2012年度版より引用

<患者さんの作品>



多職種連携

患者さん家族を**主語**に多くの
専門家が力を合わせ病気の快
復、地域定着を目指します！



入院から退院までの流れ

【患者紹介】

Aさん 年齢：28歳 性別：女性 疾患名：統合失調症

入院歴：3回

家族歴：両親（同居）長女（一人っ子）

現病歴：過去の怠薬による入院歴3回あり、今回は夫との離婚を機に引き込み、怠薬が出現。同居の母親が外出から戻ったところ、半裸で室内に水を撒き、家財をひっくり返し水浸しに、疎通は取れず制止する母親に対しても暴力を振るうことから、警察介入し措置入院となった

急性期（入院～）

入院時は、警察官に付き添われ診察も全く「聖なる水が…」など会話が成立しない。診察中もテーブルの上に飛び乗るなど多動、制しようとする警察官に掴み掛るなど攻撃性も高い。その為、保護室を使用し四肢拘束が開始となった。

内服に対する拒否は強く、医療者に対しても攻撃的な言動が続く、その為点滴による抗精神病薬の投薬を試みるが、体動が激しく点滴の留置も困難であったことから、非定形向精神薬の貼付薬の投薬が開始となった。その後情動の上下はありながらも1週間ほどで内服に応じ、貼付薬から、経口薬に変更となる。その為拘束は解除となった。拘束解除後は保護室の開放を短時間から開始し、妄想言動も軽減傾向であることから入院17日目保護室解除となった。



入院～1カ月

入院24日目より、病棟の作業療法の許可となり、徐々に他患者との会話なども増えている。妄想言動もほぼ聞かれなくなり穏やかに過ごしている。怠薬が原因になっていたことから、当院の心理教育プログラムに参加するなど食事・服薬・睡眠についても問題なく穏やかに過ごしている。

早期心理教育プログラム

「虹」

に参加してみませんか！

2022年3月

E5病棟、作業療法

「虹」では：病棟生活での不安、病気がどのように回復するか、これからどのようなリハビリテーションを行えば良いかまた心の健康について、薬を飲み続けるコツなど、わかりやすい資料による説明と話し合いを行います。是非ご参加ください。

E5病棟のリハビリテーション活動の一貫として、病気について知り、他の方と意見交換することで、体験を共有したり、生活上のストレスを緩和する目的で「虹」を開催しています。

開催日：毎週金曜日(全4回)

時間：14:00～15:00

場所：E5面会室

参加メンバー：入院して2ヶ月以内の方々、5・6名程度

担当スタッフ：病棟看護師、医師、薬剤師、臨床心理士、

精神保健福祉士、作業療法士



入院～2カ月

引き続き症状は安定しており、入院40日目措置要件がなくなり任意入院に変更。

作業療法、心理プログラムにも参加できている。

この頃から、家族とも退院後の生活について相談を始めている。

家族は、引きこもり、特に怠薬による入退院を繰り返していることから退院自体に消極的な印象があった。

そこで退院前カンファレンスを行い、退院後の生活のリズムづくり、また復職の希望が語られた事から、当院のデイケアの導入を提案、ご家族もデイケアの通所を条件にしたことで自宅への退院を前向きに検討いただけた。

入院54日目お試しデイケアの参加が開始となる



～退院

お試しデイケアでは、お気に入りのプログラムも見つかった語り、通所にも前向きな様子。病棟内でも他患者との交流も良く見られ穏やかに過ごしている。今回の入院で服薬の必要性に気付いた様子で、拒薬する他患者に対し「飲まなきゃダメ、私もこの1錠飲まなくて失敗したんだから。」と促す場面も見られた。その後2回ほど試験外泊を繰り返して74日目に自宅退院となった。

入院生活の予定(目安)

入院日: 年 月 日

	主治医	看護師	作業療法士	薬剤師	精神保健福祉士	臨床心理士
入院生活で出会う人々	担当の医師です。あなたに合った治療をしています	入院中のお世話をします	一緒に過ごし、活動を通して退院準備をします	薬について相談にのります	お金、仕事、住まいなどについて相談にのります	困っていることについて一緒に考えます
入院	1か月			2か月		3か月
本人の目安	★夜ぐっすり眠れる ★個室でゆっくり過ごせる ★三食の食事がおいしく食べれる ★薬の飲み心地を相談できる		★少しずつ生活範囲が広がっても気分が安定している ★自分に合ったリハビリテーションが開始できる ★他の患者さんと穏やかに過ごせる		★さまざまな人と出会ったり、活動しても気分が安定している ★薬やお金の管理が出来る ★退院後の生活を具体的に考えることができる	
薬	薬物療法					
面接	(さまざまな精神症状を落ち着かせるため、薬が処方されます)					
リハビリテーション	主治医 看護師	臨床心理士 精神保健福祉士 作業療法士	病気や薬について少しずつ勉強していきます		服薬指導	退院準備
生活行動範囲	病棟での作業療法		作業療法室での作業療法			
入院生活	個室中心		病棟から病院内・院外へ行動範囲が広がります			
	個室から徐々に4人部屋に		1人で病院内散歩ができます			
	買い物は原則として代行で行います		家族と外泊ができます			
	食事はお部屋で食べていただきます		退院にむけて準備します			
	原則月、水、金は女性、火、木、土は男性の入浴です					

ご清聴頂き、ありがとうございました。

当院では、地域との相互理解、
連携を進めて参ります。

引き続きのご支援お願い致します。